

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                    |            |            |
|---------|--------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 4271101372         |            |            |
| 法人名     | 社会福祉法人せいひ会         |            |            |
| 事業所名    | グループホーム翠風          |            |            |
| 所在地     | 長崎県西海市西彼町中山郷2116番地 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成23年12月6日         | 評価結果市町村受理日 | 平成24年4月10日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                         |  |  |
|-------|-------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉総合評価機構      |  |  |
| 所在地   | 長崎県長崎市桜町5番3号 大同生命長崎ビル8階 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成24年2月24日              |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームとしてどうあるべきかを考える前に、もっと小さな単位で、ご利用者の方々それぞれに対し、どう関わっていけるのかを最優先に考え、日々の業務に取り組んでいます。その原点には「最後まで人間らしく生きてもらうこと」「悔いのない介護者であること」という当事業所の理念が存在しますが、私達は常にご利用者の立場に立ったサービスの提供に努めています。そうした中で生まれてくる人間関係は、職員とご利用者という関係よりも、ひとつ屋根の下で共に暮らす家族としての色が濃いうように思えます。日々単純にノルマを消化するだけの業務遂行ではなく、ご利用者の方々から本音を引き出せるようなグループホームでありたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

周囲は田畑が広がるのどかな環境が広がっている。老人保健施設や特別養護老人ホームを有する法人の敷地内に平屋のグループホームがある。法人の中で身体拘束廃止委員会をはじめとして様々な委員会が組織され、全体での勉強会は勿論、グループホーム独自の委員会も設置され、日常的に研修や職員間の情報の共有が行われる仕組みは事業所の強みとなっている。ケアプランの見直しの際には、職員全員のコメントを記入するようフォームを改善しており、計画作成から見直しに至る仕組作りの過程の中で独自の工夫が見られる。「最後まで人間らしく暮らしてもらいたい」「悔いのない介護者でありたい」という理念が、野菜作りや漬物作りを通じて、利用者の持つ知識や能力を引き出す取り組みや、日常の介護で利用者のペースを尊重する職員の姿勢に表れているホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |                                                      | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項目 |                                                                     | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|----|------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)    | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |                                                                     |                       |                                                                   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                              | 外部評価                                                                                                                          |                   |
|--------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                              | 実践状況                                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |                                                                                                |                                                                                   |                                                                                                                               |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                             | グループホーム独自の理念を掲げ、日々の申し送りや全体会議等で確認し共有を図っている。ご利用者それぞれの生活環境を踏まえ、その人らしく生活出来ることを目指している。 | ホーム独自の理念を掲示している。理念は職員にとって利用者毎のその人らしさを考えるときに立ち返る言葉であり、申し送り時や会議の時に具体的に話し合わせ、実践に繋がっている。                                          |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                             | 近隣神社での夏祭り参加を始め、地元地区合同での敬老会、地域保育園での運動会参加等を通して交流している。                               | 法人施設を地域に開放し、今年度は合同敬老会を開催し参加している。保育園の運動会に利用者として参加している。                                                                         |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                           | 様々な地域での行事に参加することに加え、広報紙やホームページの公開も行っており、誰もが閲覧できる。                                 |                                                                                                                               |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている        | 市職員、地区民生委員、警察署員等が参加し、グループホームのサービス内容紹介のほか、一方的な報告にとどまることのないよう、市職員からの講話等も実施している。     | 2ヶ月に1回、規定のメンバーで開催されている。行事、ホームの状況、外部評価の報告が行われている。消防訓練報告では家族からの避難経路の質問があったり、長寿介護課からの講話があるなど互いの情報交換の場になっている。議事録は家族が閲覧しやすく作成している。 |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                  | 運営推進会議の開催によりかかわりをもっているほか、事故報告等においては直接的なかかわりがある。その他は法人総務部を通して行っている。                | 行政との研修や介護に関する情報交換は、法人事務局が行っている。情報や内容は法人事務局から事業所へ随時伝達されおり、周知している。認定調査や事故報告時には意見交換を行うなど協力関係を築くよう努めている。                          |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束廃止委員会を中心とする委員会活動を始め、内、外部の研修に参加する等して、拘束のないケアに取り組んでいる。                          | 法人の身体拘束廃止委員会とグループホーム内の委員会があり、職員には事例を基に周知している。言葉の拘束では「見守りと看視」「見回りと巡視」など記録時の言葉について話し合われている。施錠やベッド柵などの拘束をせずに、ケアで対応するように取り組んでいる。  |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている        | 身体拘束廃止委員会を中心とする委員会活動を中心に、啓発活動を行っている。                                              |                                                                                                                               |                   |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                        | 外部評価                                                                                                                             |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                        | 実践状況                                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 機会があれば研修会等に参加して成年後見制度について学ぶとともに、会議等において職員に伝達している。                           |                                                                                                                                  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 利用約款に基づき、契約時だけでなく、継続的に疑問点がないか尋ね、納得を図っている。                                   |                                                                                                                                  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 入居の際は事前に相談窓口を説明しており、併せてご意見箱の設置も行っている。また行事や面会の際にはご希望がないかお伺いしている。             | 玄関に意見箱や外部窓口の掲示がある。家族の訪問時には職員から声を掛け、些細なことでも家族からの意見の出やすい雰囲気を作るよう努めている。イベントは家族同士が歓談し、意見交換をする場になっている。                                |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 日々の申し送り時に職員の意見を聞く体制があるほか、月に一度グループホーム職員で構成する会議を実施し、意見の反映に努めている。              | 月1度会議では職員は意見交換が活発に行われている。本部会議に向けて現場からの意見を文書化して要望したり、物品購入書にて購入したい物品を記載し購入している。ヒヤリハットやケアプランの書式については職員からの提案があり反映した結果、現場で有効に活用されている。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 代表者は職員個々の努力や実績、勤務状況等を把握しており、法人総務部をもって体制を確保している。                             |                                                                                                                                  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 法人内外の研修案内は掲示板に掲示し、積極的な参加を促している。また研修の参加者は報告書を提出し、それを全職員が閲覧することで情報の共有ができています。 |                                                                                                                                  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 長崎県より委託事業の小規模事業所における複数事業所研修に参加し、サービスの質の向上を目指している。                           |                                                                                                                                  |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目                                                                                   | 自己評価                                                        | 外部評価                                                                                                       |                   |
|-----------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                             |     |                                                                                      | 実践状況                                                        | 実践状況                                                                                                       | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |                                                                                      |                                                             |                                                                                                            |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 少しでも具体的な要望が得られるように、原則としてサービスのご利用以前に本人様を訪問してご希望を伺うことから始めている。 |                                                                                                            |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居契約時には必ずご希望や疑問点がないか確認し、また入居後も継続的に要望を確認している。                |                                                                                                            |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 本人様やご家族のご希望を前提として、法人内の他事業所とも十分協議しながら必要としている支援を見極めている。       |                                                                                                            |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 本人様を介護される一方の立場に置く事はなく、職員も共に暮らす生活共同体として関係を築いている。             |                                                                                                            |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | ご家族も本人様を支援し得る対象の一つとしてとらえ、ともに支えあう体制づくりに努めている。                |                                                                                                            |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご希望に応じて外出支援することに加え、墓参りや美容室の利用等、ご家族にも呼びかけて協力を得ている。           | 家族の協力のもと、理髪店や墓参り、法事に出かけたり、盆正月は外泊を行っている。敷地内の法人高齢者施設の友人の訪問もある。買い物支援バスで外出もある。家族へ電話をかけたり、年賀状をもらったり、継続支援を行っている。 |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | ご利用者一人が孤立してしまわないように、集いの場所も設けており、無理のない範囲で支援を行っている。           |                                                                                                            |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                                | 外部評価                                                                                                                                      |                                                                                             |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                | 実践状況                                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                           |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                     | 当事業所のほか、法人全体でもかかわり、必要に応じた支援に努めている。                                  |                                                                                                                                           |                                                                                             |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                     |                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 形式問わず、自然なかたちでご希望を引き出すように意識し、個別での対応により検討を行っている。                      | 職員は利用者と話ず時間を持つことで、9人の人生を把握し、思いを汲み上げている。申し送りや個人記録で情報は職員間で共有している。職員は潜在能力を引き出す企画を検討し、畑の活用では各利用者の能力が引き出され、思いの把握にも繋がった。                        |                                                                                             |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居前に本人様を訪問することを原則として、ご家族や他事業所から情報を収集し、併せて日々の生活や暮らしの中から引き出すように努めている。 |                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | それぞれの有する能力、心身状態を念頭に置き、過剰なケアはせず、できない部分を介助するケアに努めている。                 |                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日常生活のなかで本人様の希望を聞きだしたり、ご家族の面会の際には話を伺う等、立案に反映させている。                   | 3ヶ月毎のモニタリング、毎月のカンファレンスをやっている。個人記録はプランに沿って記録され、評価の材料になっている。また全職員の評価を基にサービス担当者会議を行っている。家族へケアプランの説明を行っており、要望も取り入れられているが、前回のプラン評価の報告は行われていない。 | 詳細に作成されたケアプランの実践状況及び評価を家族に報告することで、次期ケアプランの内容が伝わりやすくなると思われる。また家族の安心感にも繋がると思われ、報告方法の検討を期待したい。 |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日常の暮らしぶりは介護記録として残すことで、全職員に共有できている。またそれらの情報を参考にしながら介護計画の見直しもやっている。   |                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご利用者の希望に応じて展望風呂での入浴や書道クラブへの参加も可能となっている。                             |                                                                                                                                           |                                                                                             |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                                             | 外部評価                                                                                                                     |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                                             | 実践状況                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域保育園での運動会や夏祭りへの参加、近隣高校からの実習生受け入れ等を行っている。                                                        |                                                                                                                          |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 入居契約の際にはご本人や家族と話し合い、かかりつけ医を決定している。かかりつけ医からは十分な協力体制が得られている。                                       | 原則的には協力医療機関への受診となる旨は、契約時に家族へ説明を行っている。但し、希望があればそれまでのかかりつけ医を尊重している。その際は家族が対応しているが、ホームで対応する事もある。緊急時には協力医療機関との連携が取れている。      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 当事業所の看護職員のほか、併設している介護老人保健施設の看護職員、協力医療機関の医師と協働し、24時間体制で対応している。                                    |                                                                                                                          |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院医療機関の医師やワーカーと随時情報交換を行い、早期に退院できるように努めている。                                                       |                                                                                                                          |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入居の際、当事業所も多数あるサービスのうちの一つであり、本人様のその時の状態によって、より良い環境でサービスを受けられる体制にあることを説明している。心身の状況変化に応じて随時対応を検討する。 | 看取りに関する詳細な指針が作成され、契約時に家族へ説明が行われている。看取りの事例は、設立して10年間で1例ある。協力医療機関や隣接している法人内の老健施設からの支援を受けられる体制にある。職員は外部の研修を受講し看取りについて学んでいる。 |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 緊急時の対応については日頃より周知しており、状況に応じて併設している介護老人保健施設の看護職員の応援も得られるようになっている。                                 |                                                                                                                          |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 防災対策委員会を中心に、夜間の想定も含めた避難訓練を実施しており、法人内の隣接施設のほか、消防の協力も得ている。                                         | 1年間で6回の訓練が実施され、内2回は消防署の立会のもと夜間想定を含めた避難訓練が行われている。消防団や敷地内の施設の方も訓練には参加している。隣接している法人内の施設から協力が得られる体制が取られている。                  |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目                                                                                | 自己評価                                                                                             | 外部評価                                                                                                                                    |                   |
|----------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                  |      |                                                                                   | 実践状況                                                                                             | 実践状況                                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |                                                                                   |                                                                                                  |                                                                                                                                         |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 声かけや介助の際の対応マナーを全職員で見直し、ご利用者の尊厳を重視しながら、敬う姿勢を大切にしている。                                              | 職員は、利用者一人ひとりの「その人らしさ」を大切にしたいという姿勢でケアに臨んでいる。生活歴を把握し、話し方やトイレの誘導など利用者のペースに合わせた対応が行われている。個人情報の利用目的についての規定が定められており、写真の取り扱いについても家族の同意が得られている。 |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | ご本人のペースで生活して頂くことを前提に、自分自身で選択できるような自然な声かけに努めている。                                                  |                                                                                                                                         |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの生活パターンを重視するため、一日の大まかな流れはあっても、日課表は作らず、その方のペースで生活できるよう支援している。                                |                                                                                                                                         |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 併設している介護老人保健施設へ月に一度美容師の訪問があり、ご希望に応じて利用されているほか、事業所に化粧道具があり、行事やご希望によって化粧ができる。                      |                                                                                                                                         |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | ご利用者それぞれの状況に応じてソフト食や減塩食等の対応が可能だが、。ご利用者の希望は月に一度の給食会議で反映できる体制にある。食事の準備や片づけのほか、ご利用者と職員と一緒に食事を摂っている。 | 食事は、法人内の厨房で作られている。ご飯と汁物はホームの台所で作っている。おかずを盛り付ける準備に利用者が協力し合って参加している。給食委員会が設置されており、アレルギーや減塩食、ソフト食にも対応している。中庭で作った野菜を取り入れたり、誕生日の食事も個別に作っている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 記録により摂取量の把握に努めており、ご利用者のその時々々の身体状況やご希望によって柔軟に対応している。                                              |                                                                                                                                         |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | ご利用者の状態に応じて声をかけており、必要によっては磨き直し等の介助を行っている。入れ歯洗浄剤を使用される方等様々であるが、本人様の生活スタイルを念頭に置いている。               |                                                                                                                                         |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                          | 自己評価                                                                         | 外部評価                                                                                                                   |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                         | 実践状況                                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | ご利用者の状態により、必要と思われる方にはチェック表を作成し、排泄パターンの把握に努めている。                              | 施設内にトイレは2ヶ所設置されている。排泄チェック表を作成し、利用者ごとのパターンを把握する事で誘導を行い、自立の支援を行っている。過去にはポータブルトイレの使用から自立された事例もあり、全体的には利用開始時に比べ改善されている。    |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | 入浴時に腹部のマッサージを行ったり、散歩やラジオ体操を実施する等して便秘の予防に取り組んでいる。また、随時の水分補給に加え、毎朝乳製品を提供している。  |                                                                                                                        |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴回数や入浴日、石鹸やシャンプー等もご利用者それぞれであり、ご希望があれば法人内の展望風呂も活用できる。                        | 日曜日を除く毎日、入浴は可能である。主に午後が入浴の時間に充てられている。体調の関係で入浴できない場合は清拭で対応している他、入浴を拒否される方には声掛けに工夫を凝らしている。ゆず湯や菖蒲湯で季節を感じてもらおう取り組みも行われている。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | 日中の活動において、散歩やレクリエーションでリズムを作り、夜間の空調や照明にも配慮している。また必要な方には湯たんぽを使用する等して安眠を促進している。 |                                                                                                                        |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 看護職員により指示を得ているほか、ケース記録内に薬表をファイリングして常に確認している。                                 |                                                                                                                        |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 日常生活の中で、洗濯物たたみや食器拭き等、自然に役割が分担されている。また行事やレクリエーションへの参加、買い物バスも活用している。           |                                                                                                                        |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 個別対応による散歩のほか、ご希望により買い物バスが利用できる。またご家族の協力を得ながら外出や外泊も奨励している。バスハイク等の行事も毎年実施している。 | 週に2、3回、近所や中庭を散歩したり、法人の買い物バスを利用して買い物に出かけている。家族の協力を得ながら花見やドライブを楽しんでいる他、墓参りの支援も行い戸外で出掛ける支援に努めている。                         |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                               | 自己評価                                                                         | 外部評価                                                                                                                              |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                         | 実践状況                                                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 売店の利用等で金銭が必要な場合は総務部にて対応できるほか、ご自分で財布を所持されている方もおられる。                           |                                                                                                                                   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 必要に応じて介助を行っており、手紙は総務部にて預かることができる。                                            |                                                                                                                                   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間には椅子やこたつ等、思い思いに過ごせる場所を設けている。また玄関周りには季節ごとに花を、畑には野菜等を植え、家庭的な雰囲気が出るように配慮している。 | 一般の家庭を思わせる玄関を入ると応接コーナーがあり、家族も含めてくつろげる場所となっている。広い廊下の先にあるリビングにはこたつが置かれ、思い思いの場所で利用者はくつろいでいる。施設内は掃除が行き届き清潔に保たれている。空調は集中管理され適温に保たれている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | 居室のほか、テーブル席・ソファ・談話室・縁側等形の違った場所を確保し、自由に過ごして頂いている。                             |                                                                                                                                   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | ご家族の協力を得ながら使い慣れた物の持ち込みがある。ご自分の部屋として安心して過ごして頂いている。                            | 居室には使い慣れた家具が持ち込まれている。家族の写真など自由に飾り付けが行われている。掃除は職員が行い、温度管理もできており、快適に過ごせる居室となっている。                                                   |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 食事の際には専用の椅子を準備したり、入浴の際には滑り止めマットを活用する等安全面に配慮している。                             |                                                                                                                                   |                   |